

子どもの健やかな成長のために HPで詳しく

「中野区子どもの権利に関する条例」を制定しました

子ども政策調整係／5階
☎(3228)5605 FAX(3228)5679

この条例は、子どもにやさしいまちづくりの推進のため、特に保障されるべき権利や大人の役割などを定めたものです。
☆条例の全文やパブリック・コメント手続きの結果については、区HP、児童館、区民活動センター、図書館、すこやか福祉センター、区役所4階区政資料センター、同5階3番窓口でご覧になれます



募集します

子どもの権利救済相談・調査専門員(会計年度任用職員)

勤務内容 子どもや保護者等の相談、支援業務など
勤務期間 8月1日～来年3月31日
勤務日時 月～土曜日の午前10時30分～午後7時15分 ☆原則月16日
勤務場所 教育センター分室(野方1-35-3)
報酬 月額225,680円 ☆交通費支給(限度額あり)
申込み 所定の選考申込書を郵送で、子ども政策調整係へ。5月13日必着
☆選考で4人。資格要件や申込書などについて詳しくは、区HPで確認を



▲区HP

子どもの権利委員会区民委員

活動内容 子どもに関する取り組みの推進計画や権利保障などの検証
対象 区内在住の方
任期 6月からの2年間
報酬 会議への出席1回当たり3,000円 ☆交通費支給なし
提出書類 応募動機と作文「子どもの権利を保障し、子どもにやさしいまちづくりを推進するために必要なこと」(合わせて400字～800字程度。書式自由)
申込み 4月21日～5月10日に電子申請か、郵送(必着)、ファクスまたは直接、子ども政策調整係へ。選考で2人程度。住所、氏名とふりがな、電話番号、生年月日、職業、性別 ☆結果は全応募者へ郵送

5月5日は「こどもの日」 この日から1週間は児童福祉週間です

子ども・教育政策課庶務係／5階
☎(3228)5734 FAX(3228)5679

お子さんの健やかな成長と家庭について国民全体で考えることを目的に、厚生労働省が定めた「児童福祉週間」。区は、この期間を中心に、保育園や児童館等の施設で、親子で楽しめる催しを行います。どうぞご参加ください。☆催しの日時や会場などについて詳しくは、区HPをご覧ください



お子さんを預かる家庭を募集しています

いずれも対象や要件などについて詳しくは、区HPをご覧ください。各係へ問い合わせを。

●ショートステイ協力家庭

総合相談係(中央1-41-2)
☎(5937)3257 FAX(5937)3514

保護者の入院や出張などにより一時的に子どもを養育できない時に、自宅で子どもを泊まりで預かります。



▲ショートステイ協力家庭に関する区HP

●養育家庭(里親)

企画調整係(中央1-41-2)
☎(5937)3289 FAX(5937)3354

さまざまな事情で親と一緒に暮らすことができない子どもたちを自らの家庭に迎え入れ、養育します。



▲養育家庭(里親)に関する区HP

2021区民意識・実態調査の結果がまとまりました HPで詳しく

統計係／4階 ☎(3228)8892 FAX(3228)5643

この調査は、区民のみなさんが必要としていることを的確に把握して区政運営に生かすために、毎年実施しています。

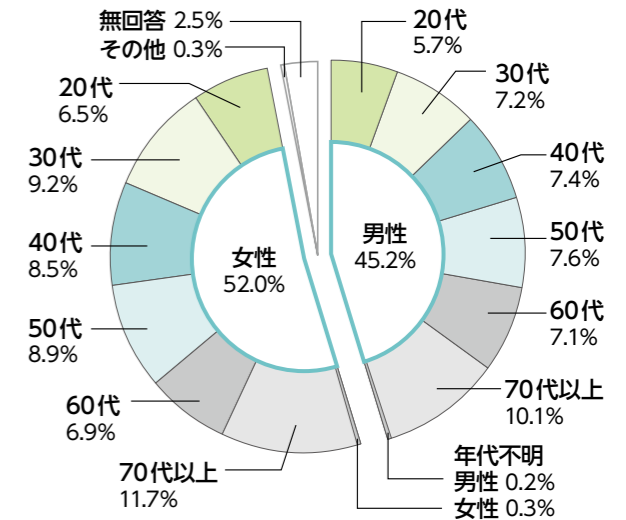
このたびまとめた最新の調査結果を抜粋してお知らせします。

☆数値は小数点第2位を四捨五入。調査結果の概要は、区HP、図書館、区役所4階区政資料センターでご覧になれます

回答者1,084人の内訳

(全グラフ共通)

実施時期 昨年9月
調査対象 無作為抽出の20歳以上の区民2,000人
調査方法 郵送回答
回収率 54.2%



◀全文は区HPで公表

区の施策への要望は「防災」「道路・交通」「みどり・公園」が上位に

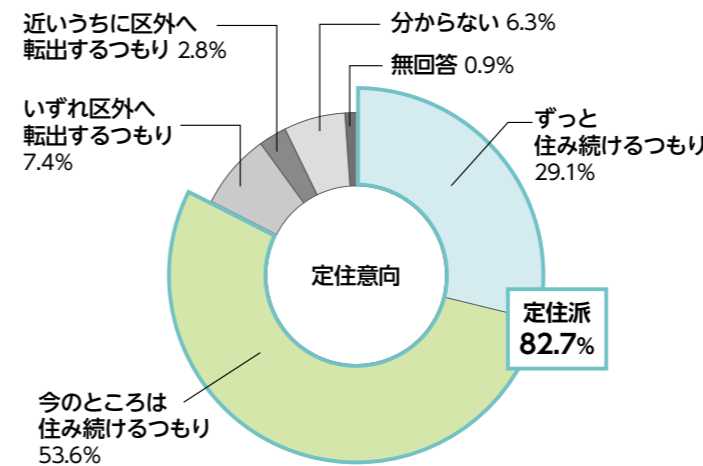
23項目の中から、今後特に力を入れてほしい施策の1位～3位を選んでいただきました。合計では、「防災」のトップは変わらず、「道路・交通」が2位となりました。また、区が力を入れていると感じる施策の上位3項目は前回と同じでした(右図下段)。

施策への要望・評価上位5項目 ☆()内は前回調査の順位

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
要望	防災 23.5% (第1位)	道路・交通 21.8% (第4位)	みどり・公園 20.3% (第3位)	防犯 19.8% (第6位)	高齢者福祉 19.5% (第2位)
評価	重点的 まちづくり 35.4% (第1位)	みどり・ 公園 21.8% (第2位)	ごみ・ リサイクル 16.4% (第3位)	住宅・ まちづくり 13.1% (第5位)	子育て支援 12.4% (第8位)

中野区への「定住派」「愛着を感じている人」は8割超え

今後も中野区に住みたいかの質問で「ずっと」「今のところ」を合わせた定住派は、昨年とほぼ変わらず82.7%でした。また、中野区に愛着を感じているかの質問に「とても」「どちらかといえば」感じていると回答した割合も、昨年に引き続き8割超えでした。



ゼロカーボンに必要な対策は「家庭での省エネ機器等導入支援」が4割半ば

区は、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すゼロカーボンシティを宣言しています。その実現に必要な対策は、「家庭での省エネ機器等導入支援」「脱炭素なまちづくり」「森林設備」との回答がそれぞれ4割以上でした(複数回答)。

